

覚性房御返事

建治二年七月一八日 五五歳

い^弥やげ^源ん^太た入道のなげき候ひしかば、むかはぎと覚性御房このよしをか^上みへ申させ給ひ候へ。恐々謹言。

七月十八日

日 蓮 花 押

覚 性 御 房